

7. 復興

原爆投下で大きな被害を受けた広島は、その直後から復興へ向けた努力を始めていた。

ここでは、収集した資料の中から、被爆1年後・2年後・3年後の写真や、占領統治のひとつま、そして広島平和記念資料館建設の様子を紹介する。



7-1. 被爆1年後の相生橋

1946年（昭和21年）8月5日～7日 川本俊雄撮影
米国科学アカデミー所蔵 2017年（平成29年）収集

橋の下に被爆による残骸が残っている一方で、普段着の人々が行き交う。



7-2. 被爆1年後の原爆ドーム

1946年（昭和21年）8月5日～7日 川本俊雄撮影
米国科学アカデミー所蔵 2017年（平成29年）収集

原爆ドーム周辺もある程度片付けられ、付近に木造の建物が建てられているの見える。



7-3. 被爆1年後の広島護国神社跡

1946年（昭和21年）8月5日～7日 川本俊雄撮影
米国科学アカデミー所蔵 2017年（平成29年）収集

被爆一年後に行われた盆踊り大会のため、広島護国神社跡に人々が集まっている。画面右側に檜の上に置かれた太鼓が見える。



7-4. 第1回平和祭での平和宣言

1947年（昭和22年）8月6日 米軍撮影 米陸軍遺産教育センター所蔵
2019年（令和元年）収集

慈仙寺を「平和広場」として行われた第1回広島平和祭において平和宣言を行う浜井信三市長。この平和祭では連合軍最高司令官ダグラス・マッカーサー元帥によるメッセージが代読された。



7-5. 第1回平和祭での平和の歌演奏・合唱

1947年（昭和22年）8月6日 米軍撮影 米陸軍遺産教育センター所蔵
2019年（令和元年）収集

第1回平和祭での平和の歌演奏・合唱。



7-6. 第1回平和祭での平和の歌演奏・合唱

1947年（昭和22年）8月6日 米軍撮影 米陸軍遺産教育センター所蔵
2019年（令和元年）収集

第1回平和祭での平和の歌演奏・合唱。



7-7. 第1回平和祭での「平和踊」

1947年(昭和22年)8月6日 米軍撮影 米陸軍遺産教育センター所蔵
2019年(令和元年)収集

第1回平和祭の一部として行われたもの。



7-8. 第2回平和祭

1948年(昭和23年)8月6日 アレクサンダー・ターンプル図書館所蔵
2017年(平成29年)収集

慈仙鼻で開催された第2回平和祭。壇上には英連邦軍司令官のロバートソン中将が見える。



7-9. 「安全週間」—市内電車の安全第一サイン

1947年(昭和22年)6月9日～15日 アレクサンダー・ターンプル図書館所蔵
2017年(平成29年)収集

増加する交通事故に対応して占領軍の指導で行われた「安全週間」の様子。八丁堀に停車している市内電車に日英で「安全第一」と書かれているが英字の綴は誤っている。



7-10. 「安全週間」—啓発ビラの空からの配布

1947年(昭和22年)6月9日～15日 アレクサンダー・ターンプル図書館所蔵
2017年(平成29年)収集

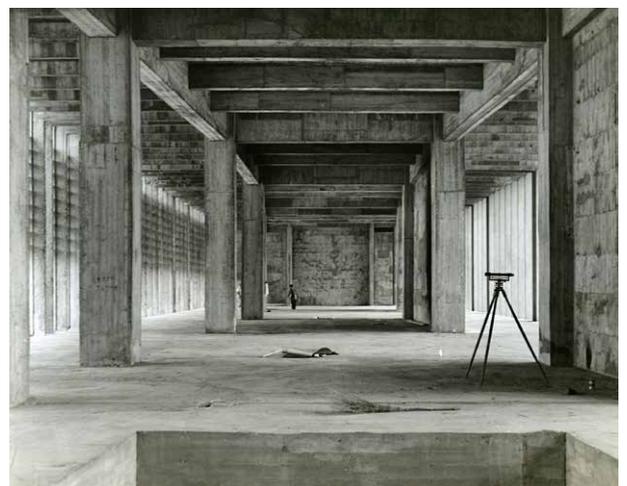
英連邦軍の航空機が交通安全を訴えるビラを散布している。当時八丁堀にあった中国新聞ビルから撮影された。



7-11. 建設中の広島平和記念資料館(外観)

1951年(昭和26年)～1955年(昭和30)頃 米科学アカデミー所蔵
2017年(平成29年)収集

建設中の広島平和記念資料館を南西から撮影したもの。



7-12. 建設中の広島平和記念資料館(内観)

1951年(昭和26年)～1955年(昭和30)頃 米科学アカデミー所蔵
2017年(平成29年)収集

建設中の広島平和記念資料館を内部で撮影したもの。東側から西側を見る。